

## ラフマニノフのピアノ協奏曲について

土屋博

### (二) ピアノ協奏曲第二番ハ短調

セルゲイ・ラフマニノフ（一八七三年生れ、一九四三年没）こそ今は亡き父の最も敬愛せる作曲家なれ。父は京都のクラシック音楽を愛好する家庭に育ち、幼少時にはカルーソーの「オーソレミオ」のレコードにより目覚めたる由。父の次兄はピアニストにて東京音楽學校時代に高名なるレオ・シロタ先生の愛弟子たりしとぞ。第一回フルブライト留學生としてカリフォルニア大學バークレイ校に留學したる父は標記曲のレコードを歸國の際に持ち歸れり。小生にとりては幼き頃に何度も聴き、知らず知らず諳んじたる懐かしき名曲なり。今聴きても胸熱くなる心地ぞする。

第二番はラフマニノフ露西亞時代、一九〇一年の作曲なり。甘美なる旋律、浅田真央のフイギユアスケートに使用せられたることもあるは周知の如し。

### (参考)

第二番の映像一覧（市販DVDを中心として）

①一九六二年クライバーン（コンドラシン指揮モスクワフィル）  
白黒映像。ヴァン・クライバーンの一九五八年チャイコフスキーコンクール受賞後、數年を経て再訪露したる際の演奏なり。

②一九六七年オボーリン（渡邊曉雄指揮、日本フィル）白黒映像。巨匠オボーリンの片鱗を知ることを得。

③一九七三年ワイセンベルク（カラヤン指揮、ベルリンフィル）  
カラヤンの映像作品は獨得のため必ずしも一般向けに非ず。ワイセンベルクはかつて黒柳徹子と付き合ひたることありし由。

④一九八九年ガブリーロフ（アシケナージ指揮、ロイヤルフィル）  
レーザードディスクの状態悪しく、二度目の購入せるも、製造過程に問題ありし模様。

⑤一九九六年ダグラス（ティルソントマス指揮、ロンドン響）

ダグラスは英國のピアニスト、一九八六年チャイコフスキーコンクールの優勝者。

⑥二〇〇九年ランラン（ラトル指揮、ベルリンフィル）NHK放映。年末のジルベスターコンサートより。

⑦二〇一一年ネボルシン（ランデ指揮、サンクトペテルブルク国立響）

ネボルシンはウズベキスタン出身のピアニスト。リヒテルコンクール第一位。⑧二〇一三年マツエフ（テミルカーノフ指揮、サンクトペテルブルクフィル）ブルーレイ。マツエフは一九九八年チャイコフスキーコンクール優勝者。

⑨二〇一三年 辻井伸行（メナ指揮、BBCフィル）

盲目のピアニスト辻井君の倫敦ロイヤル・アルバート・ホールのBBCプロムスにての晴れ舞臺の記録なり。十周年記念ボックスCD集に特典として附くDVDなり。

⑩二〇一四年 辻井伸行（バーゼル響）BSフ

ジ放映。

⑪二〇一七年 辻井伸行（本名指揮、東京フィル）

BS朝日放映。サントリーホールに於ける天覧公演なり。

⑫二〇一八年トリフォノフ（ロンユ指揮、上海響）

ブルーレイ。トリフォノフは二〇一一年チャイコフスキーコンクール優勝者。

（二）ピアノ協奏曲第三番ニ短調

一九〇九年、亞米利加紐育にて作曲家自身により初演せらる。ニメートル近き巨人にして手の大きなラフマニノフならではの超絶的技巧に溢るる難曲なり。

令和二年八月二十一日、ピティナピアノコンペティション特級ファイナルのサントリーホールよりの生中継配信をユーチューブ對應の大型テレビにて視聴したる處、ファイナリス

ト四人のうち實に三人、此の曲を選択し、しかも金賞尾城杏奈さん、銀賞森本君、銅賞谷君と三賞を獨占したるは壯觀たり。改めて演奏効果の極めて高き樂曲と言はざるべからず。ちなみにピティナコンクールは我が國最大規模のコンクールにて、小生の娘も數年前グラシムミューズG級金賞・讀賣新聞社賞を受賞したることあり。その際に小生も會場にて若者たちの眞剣なる切磋琢磨の様子に直に接し、感動を覺えたる記憶あり。

(参考)

### 第三番の映像一覧

①一九七八年ホロヴィッツ (メータ指揮、ニューヨークフィル)  
歴史的名演。一九二八年一月米國デビューの四日前、ウラディミール・ホロヴィッツ (一九〇三年生れ、一九八九年没) はラフマニノフと此の作品の二臺ピアノ版を一緒に演奏したる由なれば、作曲者直傳の演奏なり。

②一九八二年アルゲリッチ (シャイー指揮、コンセルトヘボウ) 永らく廢盤なりしが、ユーチューブにて視聴可能。

③一九八五年 中村絃子 (スヴェトラノフ指揮、ソヴィエト國立響) レーザーディスク。  
イスク。

④二〇〇一年オルガ・カーン  
クライバーンコンクールのドキュメンタリー映畫DVDのボーナスとして。

⑤二〇〇九年ブロンフマン (ラトル指揮、ベルリンフィル)  
ブルーレイ

⑥二〇一四年 辻井伸行 (ペトレンコ指揮、リバプールフィル) T  
V放映。

⑦二〇一六年アブドウライモフ (ゲルギエフ指揮、ミュンヘンフィル) ブルーレイ。プロムスにての公演なり。

⑧二〇一九年マツ―エフ（シャイ―指揮、ルツェルン）ブルー  
レイ。

（令和二年九月四日受附）